

新たな価値を生み出す“ノットワーキング”



東北大学大学院
経済学研究科

准教授

高浦 康有 さん

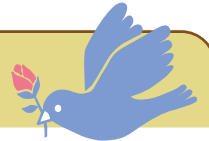
被災地であらたな価値を生み出すNPO。そのダイナミズムはどのように把握できるだろうか？近年注目される活動理論に、フィンランドの社会心理学者エンゲストロームが示した「ノットワーキング（knotworking）」というものがある。Knot（結び目）を結うという相互行為を含意する概念である。常に変化するような環境の中で、人々はそれぞれが即興的に響き合うようなつながりを生み出し、しなやかに結び付き、ほどかれ、再び結び合わされるといった関係を形成するようになる。NPOにおいても、自ら多様な主体をつなぎ合わせる結節点となりながら、ゆるやかな協働を生み出すことで、あらたな価値を創出することができる。

今回紹介されている3つのNPOの特徴を見ると、やはり多様な活動主体がうまく協働するような関係を生み出していることが分かる。たとえば、エイブル・アート・ジャパンは被災地の福祉作業所とデザイナー、支援者それぞれのリソースを結びつけ、アートによる障が

い者支援を幅広く行っている。TEDICは地域の町内会と小学校、社会福祉協議会と協働した子ども食堂をつくり、活動を通じて地域の大人と子どもが「縁の紡ぎ直し」をするというあらたな事業コンセプトにつながった。吉里吉里国は、地域の被災者が薪割りに従事し、地域通貨を介して地元の商店とのつながりも生み出した。教育委員会との連携による子どもたちの薪割り体験などの試みも取り入れている。また持続可能な林業に取り組むNPOや企業との協働による広域ネットワークへの参画も果たしている。

それぞれの分野でNPOがしなやかにノットワーキングの機能を果たすことで、コミュニティの復興、活力向上が期待できる。ノットワーキングは市民協働の実践の場でもある。NPOが窓口となって市民同士の関わりをいかに演出できるか。NPOが地域に定着していく復興期にあってはそのことがとくに求められるだろう。

●みやぎソーシャルビジネス支援ネットワークのお知らせ●



ネットワークでは、ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスを運営するNPO等向けのセミナーやワンストップ相談会を開催しています。先日開催された「『復興』の先を考えるミーティング」（石巻 2/15・気仙沼 2/19・仙台 3/15）の会場でも相談をお受けしました。これからも定期的に個別相談会を開催していきますのでご利用ください。

構成
機関

宮城県、仙台市、東北税理士会宮城県支部連合会、宮城県行政書士会、NPO法人杜の伝言板ゆるる、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、日本政策金融公庫

●相談活用事例●

- ・ NPO法人、一般社団法人の設立・費用、それぞれのメリット、デメリット及び自治体への申請方法等について相談したい。
- ・ NPO法人の経理方法と税務申告について相談したい。
- ・ 施設が手狭になったため移転を検討しているが、助成金・補助金や融資制度などがどういったものがあるのか聞いてみたい。など

●お問い合わせ先 日本政策金融公庫 東北広域営業推進室内（担当：松宮）
〒980-8452 仙台市青葉区中央 1-6-35 電話 022-222-5339

『復興ing』バックナンバーは
県ホームページで公開しています。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/fukkoing29.html>

復興ing NPO等の震災復興取り組み事例集

2018.3 vol.4

発行：宮城県環境生活部共同参画社会推進課
〒980-8570
仙台市青葉区本町三丁目8番1号
TEL：022-211-2576

企画・編集：認定特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
E-mail：npo@yururu.com URL：https://www.yururu.com/